

よむよむ通信

令和7年12月1日 第10号
秦野市教育委員会

暑かった夏が終わったと思ったら、急に寒くなり、冬になりましたね。寒さだけでなく、年末年始は何かといそがしくなりがちですが、冬休み、温かい飲み物を飲みながら本を読み、心も体もほっこりする時間を持つてみるのもいいですね。

ブックスタート事業のご紹介!!

みなさん、「ブックスタート」ということばをしっていますか？「ブックスタート」とは乳児の時期から絵本を通して親子がことばを通わせる時間を作り、赤ちゃんの時期から本に興味をもつきっかけを作ることです。秦野市では各園でもすでに絵本とかかわる活動を行っていますが、乳児から絵本を通してことばにかかることは、言語力を向上させるだけでなく、気持ちを落ち着かせたり、想像力や集中力の育成につながります。

この時代、スマホやタブレットが当たり前になっていますが、乳児だけでなく、大人も子どももデジタルから少し離れ、ゆっくりと読書の時間をつくるとともに、本を読んだ感想を伝え合ってみるのもいいですね！

読書活動推進取組紹介！



前号では、昨年度の末広小や北中の読書活動について紹介しましたが、他の学校や園でも日頃から工夫ある読書活動の推進に力を入れています。一部ではありますが、ご紹介します。

東中では、家庭科の授業の一環で、東幼稚園の園児のみなさんに絵本の読み聞かせを行っていました。中学生のみなさんは当日に向けて絵本を読む練習をしたそうです。

絵本を通じてだんだんと心の距離も縮まる、すてきな時間でした！



太根中では、毎日朝読書を行っています。生徒はもちろん先生方も一緒に読むことが習慣化されています。



読書することによって落ち着いて一日を始めることができているようです。環境調整の面でも良い効果が出ています。



OMOTAN読書レター受賞者決定！



令和7年度より、「はだのっ子アワード」読書活動部門については、OMOTAN 読書レターへの取組がアワードの表彰対象となります。

夏に開催されたOMOTAN 読書レター 読書検定「秦野市大会」において教育長賞1名、ふるさと賞3名の方を表彰予定です。

今回教育長賞、ふるさと賞を受賞したご兄弟、保護者の方と懇談を行い、本との関わりについてお聞きしました。保護者のお話によりますと、幼い頃から読み聞かせに取り組んでおり、読書習慣が身に付いているそうです。子どもたちからは「本が好き、色々なことが覚えられる」と本への思いを話してくれました。